

(6 学年部の通信より抜粋)

姿でリードするキラキラ掃除

キラキラ掃除が始まって4週間が経とうとしています。昨年度の2月以来のキラキラ掃除でしたので、以前のように取り組むことができるか心配していましたが、休校期間のブランクを感じさせないほど以前と同じように取り組む姿が見られています。

先週の学年集会でキラキラ掃除のふり返りを行いました。キラキラ掃除のふり返りには、以下のような成果と課題、これからの取組方について考えが出されました。

成果

- ・姿でお手本を示すことができている
- ・素早く行動することができている
- ・掃除の仕方など教えることができている
- ・臨機応変に行動することができている

課題

- ・指示で声が出ている
- ・掃除場所に集合した後の動きが遅い
- ・無駄なおしゃべりが聞こえる
- ・プラスアルファ掃除が高まっていない

これからどう取り組むか

指示について

時間について

全体を通して

- ・全体をよく見て
- ・具体的に
- ・時間を意識しながら
- ・基本掃除とプラスアルファ掃除など、区切りを全体へ伝える
- ・時間が余ったら何度も拭くように声をかける
- ・今のがんばりを継続していきたい

集合の時間やお手本・指示の示し方等、自分なりに考えて行動することが成果と感じているようです。しかし、自分ではできていても、下級生の姿が目指す姿に至っていないと感じているようです。今後は、指示の出し方を中心に取組を進めていきます。

集会の中で、校長先生より以下のようなお話を頂きました。

引き継ぎの時間や機会が取れず不安のある中での6年生のスタートだったと思うが、一人ひとりがよく考え地に足をつけて落ち着いて取り組んでいる。上々のスタートがきれいている。朝の掃除でも早めに掃除場所に行って準備をする姿が見られるなど率先して素早く行動し姿で下級生をリードしてくれている。

先日、掃除の時間後に靴箱のところで残っている砂を私が掃いていると、通りかかった6年生が、「ありがとうございます」「私がやります」と声をかけてくれた。掃除に対する責任感と使命感を持っているからこそその一言だと思う。また、その姿をペアの1年生や下級生が横で見ている。彼らはその言葉を言える6年生を見て何を学ぶのだろう。これこそが、「下級生に姿で教える」ということだ。みんなは意識していないかも知れないが、この他にも6年生の言動が下級生へ多くの学びを生み出している。

これまでの5年間の積み重ねと地道に頑張ってきた成果が表れている。これまでにない1年になると思うが、慌てず焦らず自信を失うことなくこれからも取組を進めてほしい。

これらの姿は5年生までの積み重ねが大きいと感じています。5年生の後期、掃除実行委員を中心に、「掃除場所に一番に集合し、全校をリードする」という取組を進めてきました。互いに声をかけ合いながら朝休み終了前にすばやく集合する姿が当たり前となっていました。今何をすべきか考えて行動しようとする意識の高まりを感じました。最高学年に向けて「前進」しようと努力した力が今、真の力となり花開いています。

今のがんばりを継続し、次の目標を一つずつクリアできるよう支援して参ります。

